

平成28年第4回双葉町議会定例会行政報告

平成28年第4回双葉町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。

9月定例会以降の行政経過についてご報告いたします。

9月11日、第10回市町村対抗福島県軟式野球大会が県営あづま球場において開催され、10月16日には第3回市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬光陽ソフトボール場で開催されました。選手の皆さんの復興への願いが込められた元気いっぱいのプレーに大変勇気づけられたところです。

10月2日、震災後休止しておりました双葉町敬老会をいわき市のスパリゾートハワイアンズで開催し、県内外から多数の方々に参加いただきました。式典では、218名の出席者の代表として101歳になられた今村チヨ様（長塚1）に記念品を贈らせていただきました。また、福島民報社から6組の金婚夫婦に表彰状と記念品が贈られました。式典終了後には、双葉町出身の演歌歌手、木村友衛さんによる歌謡ショーが行われ、出席された皆さんは楽しいひとときを過ごされていきました。

10月3日から生活サポート補助金の申請受付を開始いたしました。また、大熊町と合同で補助金の説明会を10月4日から11月12日にかけて、県内6カ所・県外9カ所の計15カ所で延べ25回開催しました。説明会には528名の町民の皆さんの参加をいただきました。

10月14日から11月26日にかけて、福島県内7カ所、福島県外7カ所の計14カ所で町政懇談会を実施し、221名の町民の皆さんにご出席いただきました。町政懇談会では、まず私から町内復興の取組について報告した後、担当課長より、復興まちづくり計画（第二次）の検討状況、生活サポート補助金関係、町共同墓地整備等について、教育長より町立学校の状況について説明を行いました。続いて、町民の皆さんから町政全般について、多くのご意見、ご要望、ご質問をいただきました。今回の懇談会で出されたご意見等を、今後の町政運営に反映させるべく検討を深めてまいる考えであります。

10月25日、26日の両日、郡山ビックアイで双葉町芸術文化団体連絡協議会主催の第29回双葉町総合美術展と第3回双葉町民作品展覧会が開催され、

すばらしい作品が展示されました。多くの町民の皆さんが会場を訪れ、作品の鑑賞とともにお互いの再会を喜び合いました。会員をはじめ、出品されました皆さんに感謝申し上げます。

10月26日、中野地区復興産業拠点への立地に向けた町商工会会員を対象とした企業説明会を開催し、15事業者に参加をいただきました。説明会では、町から復興産業拠点の概要とインフラ復旧のスケジュールを説明したのち、福島相双復興官民合同チームから、事業再開に係る支援策等について説明いただきました。今後は、今回実施した復興産業拠点への立地意向に関する調査結果を精査し、拠点整備に反映させるとともに、産業団地への企業誘致を進めてまいります。

また、福島第一原子力発電所の廃炉関連事業者等に対しても、拠点概要等の説明会を11月11日に開催し、29事業者に参加をいただきました。

10月29日、30日の両日、勿来地区文化協会のご支援により、勿来市民体育館で開催された勿来地区総合文化展において、第3回双葉町民作品展覧会を開催しました。町立小中学校の児童生徒はじめ、いわき市、加須市などから、町民の皆さんの作品が出展され、勿来地区の皆さんとの文化交流を図りました。

10月31日、町内の帰還困難区域では初めてとなる駅西地区の本格除染が着工され、来年3月15日までに約40ヘクタールの除染が実施されます。

11月3日、いわき市植田町の「八幡台やまたまや」において、平成28年度双葉町表彰式を挙げていたしました。式では、4名の方々に功労表彰、3名の方々に善行表彰、10名の方々に永年勤続表彰、10団体に感謝状をそれぞれお贈りいたしました。

これまで多年にわたりそれぞれの分野で精励努力されてきたことに対して、その功績を称えるとともに、双葉町の復興に向けて今後とも一層のお力添えをお願い申し上げます。

また、表彰式終了後に埼玉県加須市との「友好都市盟約締結式」を挙げていたしました。大橋良一加須市長はじめ、多数の来賓の方々にご臨席を賜り、盟約書に調印をいたしました。加須市とは今後さらに交流を深め、新たな友好の歴史を築いていきたいと考えております。

11月5日、幼稚園・小・中学校による「梅檀祭」が双葉町立学校仮設校舎体育館において開催されました。子どもたちが一生懸命練習を重ねた和太鼓や創作劇、合唱などが発表され、参観された皆さんに大きな感動を与えました。

1 1月8日、町道山田・郡山線改良工事の地権者説明会を双葉町いわき事務所で開催いたしました。

1 1月12日、震災後4回目となる双葉町消防団秋季検閲式を、双葉町立学校仮設校舎体育館で開催いたしました。団長の指揮のもと、閲団と通常点検が行われ、団員の皆さんの士気の高さを確認いたしました。

1 1月15日、中間貯蔵施設の受け入れ分別施設及び土壌貯蔵施設の着工式が現地で開催されました。

また、同日、福島第一原子力発電所を視察し、廃炉措置の実施状況について確認してまいりました。

当日は、5、6号機中央操作室や既設の固体廃棄物貯蔵庫第7棟及び建設中の第9棟、固体廃棄物関連設備等の整備予定地などを確認したほか、新事務棟では、東京電力社員に対して、日頃からの廃炉作業への地道な努力に町民を代表して謝意を伝えたところです。今後の廃炉措置の取組が町の復興に大きく影響していくこと、さらに、社員一人ひとりが廃炉への強固な意志を持って日々精励されるようお願いしたところであります。

町としましても、東京電力が計画している固体廃棄物関連設備等の新・増設をはじめとする、福島第一原子力発電所の安全かつ着実な廃炉措置の実施と、正確かつ迅速な情報提供を、引き続き強く求めてまいります。

1 1月20日、第28回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が開催されました。選手の皆さんは、大会を前に北塩原村で2泊3日の合宿を行い、チームワークを高め、当日は心をつ一つにして大会に臨み、見事な走りを見せてくれました。選手の頑張りや、町民の皆さんに、元気と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援していただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

1 1月25日、9月に実施した「双葉町住民意向調査」結果の速報版が公表されました。今回の調査結果のうち、帰還意向について「戻りたいと考えている」という回答割合が0.1ポイント増えており、町の復興に対する町民の期待感の表れと考えております。今回の調査結果を重く受け止め、町の復興が目に見えて実感できるよう、引き続き復興の取組を推進してまいります。

1 1月30日、福島県の施策である「グローバル人材を育む小中連携英語教育推進事業」の一環として、双葉中学校で3年生の英語の授業公開が行われま

した。授業は、すべて英語で進められ、小中連携の英語教育を目指す小中学校の教職員や保護者など多くの参加者から高い評価を得たところです。

町立幼稚園・小・中学校の児童生徒数は、12月5日現在40名となっております。今後も教育環境を充実させ、復興に資する人材の育成と生徒数の増加に向けて取り組んでまいります。

12月1日、県内の学校等の除染土壌等の一時保管場として使用するため、環境省で進めていた双葉総合公園の一部の整備が完了し、県内の学校等の除染土壌の搬入が開始されました。

12月2日、町の復興に向けた重点課題について、平成29年度予算編成等に向けて国への要望活動を行いました。要望項目としては、復興財源と国の支援体制の長期的な確保、「帰還困難区域の取扱いに関する考え方」の早期具体化と町の意向を最大限尊重した計画の認定、帰還困難区域全域の帰還環境整備・避難指示解除に向けた取組の継続、「中野地区復興産業拠点」の整備や、「JR双葉駅西側・新市街地ゾーン」等の町内の生活拠点整備に向けた支援、町内除染の早期かつ計画的な実施、被害実態に即した賠償の実施と町民の生活支援、避難者に対する高速道路の無料措置の延長、医療費一部負担金等の減免の継続などを強く要望してまいりました。

要望先の大臣などには、町からの要望内容について概ねご理解をいただいたと考えておりますが、引き続き町の復興と町民の生活再建の実現に向けて国等への働きかけを粘り強く行ってまいります。

12月5日、白河市に整備された復興公営住宅の南湖南（なんこみなみ）団地と白坂団地の鍵引渡し式が行われました。

復興公営住宅については、白河市のほか、いわき市、郡山市、南相馬市など県内各地で整備が進み、順次入居が行われているところです。鍵引渡し式では、復興公営住宅の早期完成に向けて、国、県をはじめ関係機関の一層のご尽力を、改めて私からお願いしたところです。

次に、いわき市勿来酒井地区の復興公営住宅の入居者募集状況ですが、現在集合住宅48戸と木造長屋（テラスハウス）8戸の再募集が来年1月11日まで、戸建て住宅3戸の定期募集が12月21日まで行われていますので、引き続き県とも連携した入居支援に取り組んでまいります。

また、勿来酒井地区復興公営住宅の基盤整備工事の工事進捗率は、10月末現在で45%となっております。

「復興まちづくり計画（第二次）」の策定に向けた取組についてですが、10

月以降、「人の復興部会」と「町の復興部会」をそれぞれ1回ずつ開催し、帰還困難区域の取扱い方針を踏まえた今後の町の取組についてご議論いただきました。

これまでの部会での意見も踏まえ、11月1日の第2回双葉町復興町民委員会に第二次計画の骨子案、12月1日の第3回委員会に、第二次計画の案をそれぞれお示しし、熱心なご議論をいただきました。特に第3回委員会では、「復興まちづくり計画（第二次）策定に関する意見書」を取りまとめ、田中委員長及び岡村副委員長から手交いただきました。

現在、計画の再精査を進めているところであり、月内を目途に「復興まちづくり計画（第二次）」を策定したいと考えております。今後は町の復興に向け、計画に盛り込まれた内容の早期実現を目指し、強い意気込みを持って取組を進めていきたいと考えておりますので、議会の皆さんにも、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に本定例会に提案いたしました、案件について申し上げます。

条例の制定が1件、条例の一部改正が4件、補正予算（案）が3件、合わせて8件となりますので、慎重なるご審議をいただき、議決賜りますようお願い申し上げます。